

高岡開町400年記念協賛事業企画書

「芥川賞作家 川上未映子、トーク。」フォーラム

ー “ドラえもん” と “まち” をめぐるおはなしー

目的

高岡は加賀藩二代藩主・前田利長公によって1609年に開かれ、2009年は開町400年の記念すべき年になっております。また、2014年度末には北陸新幹線の開業を予定しており、大きく変貌することが予想されます。人口減少・少子高齢化における都市間競争が一層激しさを増す中、市民はもとより、広域的視点からも求心力を高める高岡のまちの魅力再発見全国発信力が急務となっております。そこで高岡開町400年記念協賛事業として実行委員会は「ふるさと高岡の過去～未来-住んでみたいまち高岡! 行ってみたいまち高岡! の創造-」への一環として高岡現代文化の象徴である「ドラえもん」の作者、藤子・F・不二雄さん生誕地・高岡を切り口（藤子・F・不二雄さんがいた高岡の知名度アップとまちの魅力再発見・地域振興）とした下記の事業を企画しました。

事業

「川上未映子、トーク。」フォーラム

日時：9月5日（土） 12:30開場／13:15開会～13:30閉会

会場：ウイングウイング高岡4Fホール

定員：400名

同時開催：藤子・F・不二雄、高岡時代の「お宝本」など展示 4Fホワイエ

◎13:30～14:45

第一部フォーラム 入場無料

パネルディスカッション「藤子・F・不二雄がいた高岡ーわたしたちの好きなふるさとの原風景」

青少年育成・環境イメージを持つ「ドラえもん」の作者、藤子・F・不二雄氏を生みだし高岡・まちの価値を地元の識者が語る。ー「高岡の魅力再発見」

パネリスト：高岡市長 高橋正樹氏

富山県知事政策局長 廣光俊昭氏

高岡商工会議所専務理事 山達是人氏（藤子プロ交渉窓口）

ショウワノート(株)社長 片岸茂氏（「ドラえもん」キャラクター文具メーカー）

高岡ロータリークラブ 石橋正好氏（地元支援ファン）

◎休憩（入替）

◎15:00～16:30

第二部フォーラム 入場料1,500円

「川上未映子、トーク。」～ “ドラえもん” と “まち” をめぐるおはなし～

藤子・F・不二雄氏と少女期に交流のあった芥川賞作家 川上未映子氏が “ドラえもん” の原風景と川上氏の故郷を重ね、“まち”（富山県や高岡の印象も含めて）をめぐるトーク。

◎16:30 閉会

[主催] 「川上未映子、トーク。」実行委員会（高岡市、高岡商工会議所、万葉線・高岡ロータリークラブ、高岡南部地域活性化推進協議会、瑞龍寺夢参道まち衆会、Nプロジェクトひと・みち・まち、富山大学芸術文化学部、未来観光戦略会議）

[後援] 高岡開町400年記念イベント実行委員会、富山県、富山県芸術文化協会、藤子・F・不二雄さんを愛する会
高岡市教育委員会

[協力] 射水市観光協会、夢たかおか実行委員会

[協賛] 全国・地方新聞TV報道各社、雑誌マスコミ各社、協賛企業

なぜ、川上未映子と藤子・F・不二雄なのか？

2008年、第138回芥川賞を受賞し、文壇にセンセーショナルな登場を果たしながらも、自らを「文筆歌手」と称し、ミュージシャン、女優、文筆家、小説家、詩人とジャンルに拘ることなく、自らの表現を追究する新世代のクリエイター、川上未映子さん。

1951年、「天使の玉ちゃん」でデビュー以来45年にわたり、日本の漫画・アニメーション文化の礎を築き、その発展を支え、没してもなお、その作品群が世界中の子供たちに影響を与え続ける現代児童漫画の創造主、藤子・F・不二雄さん。

祖父孫ほどに世代の離れたこの二人の邂逅は、川上氏がまだ9才だった頃に遡ります。当時、『ドラえもん』にはまった川上少女は、チラシを漫画本の大きさに切り、その裏に1巻分全ページの漫画をまる写しし、それを作者本人に送ったのです。後日、藤子さんからは手紙と下敷きとサインが届きました。手紙にはとても素敵なメッセージが書かれていたそうです。いくつかのメディアで、このエピソードを嬉しそうに語る川上さん。そのチラシ製の複写本と手紙のやり取りの中で、少女だった川上さんはどんな感慨を得たのでしょうか？そしてその出来事は、現在の作家・川上未映子になにかしらの影響を与えたのでしょうか？

川上未映子さんにお話していただきたいこと

『ドラえもん』を代表とする藤子さんの世界は、作者本人も随筆等で述懐しているとおり、昭和10～20年代の高岡での体験と昭和初中期の原風景の記憶をルーツにしています。それは友人同士の間接的な関係を含めた人間模様であり、山川や土管のある空地での触覚的な遊びの記憶であり、その環境の中での思春期の自己嫌悪や葛藤を含んだものです。「実はのび太は僕なのです」と語っていた藤子氏は、高岡で過ごした幼少から青少年期のむき出しの感受性で受信した“何か”を、その後の作家活動の動力源としたはずで、そして藤子氏が作家活動を通じ、一貫して発信し続けたメッセージは、自らが受けた目くるめく体験をひとつでも多く幼年期に味わい、好奇心と冒険心に満ちあふれた少年時代を過ごし、そして大人になってもその衝動を失わずに熟成して行って欲しいということでした。

今回のトークショーでは、川上さんが『ドラえもん』に夢中になっていた頃。そして藤子さんとほんのつかの間、接点をもった頃。つまりむき出しで、多感で、“のび太(のび子?)”だった頃のお話しをしていただきたいと思います。そのころ川上さんを取り囲んでいた原風景。自分の周りの家族、友人、大人といった“人間たち”。川上さんにとっての土管の空き地は？ スネ夫やジャイアン、しずかちゃんは？ その環境の中での思春期の自己嫌悪や葛藤は？ それらを包み込んだ“まち”の質感が、表現者・川上未映子を形作る上で、どんな影響を及ぼしたのでしょうか？

それを高岡に住む若い人達、それは理屈っぽかったり、夢見がち過ぎてちょっと心配だったり、漫画ばかり読んでいるなど、様々なタイプの“のび太(のび子?)”たちと、そんな子をもつ保護者の方々に聞いていただきたいと思います。

まちづくり＝「高岡の魅力再発見」としての意義

「ドラえもん」の作者、藤子・F・不二雄氏の生誕地・創作の原点を切り口とした高岡の魅力を、昨年の昨年の東海北陸自動車道開通、来る2014年新幹線開業、そして本年の開町400年をむかえるこの時期に、全国・海外に発信することは、高岡の地域ブランド化に大いに貢献するものと思われまます。高岡市、ひいては富山県は、わざわざ訪れたいというインパクトや、全国的な認知度はまだ低いのが現状です。そのために、埋もれた魅力を再発見し、それをより磨き、多くの県外の人々が富山県を訪れるきっかけを作り、足を運んでもらうことが求められています。

今回の「川上未映子、トーク。」は、地域の文化環境振興に役立て、また、県民が新たな地域の魅力を発見できる場となることを期待して行うものです。川上未映子氏と『ドラえもん』や藤子・F・不二雄氏の思い出が、細かなディテールをもって公に語られることは初めてであり、それが藤子不二雄誕生のまちで開催される意義は大きく、日本の文化的事実においても貴重な出来事となるでしょう。藤子・F・不二雄氏のみならず、創造的でユニークな人材を数多く産み出している富山県には、必ずその土着的な環境の中に、創造性や独自性の涵養を刺激する魅力が内包されているはずです。この事業がそのあらたな“まち”の魅力を再発見し、次世代の人材を育む一助となるはずです。

さらに、今回の催しのエキスカーションとして、富山県・高岡市の特色である万葉線と自転車を組み合わせさせた環境に優しい“サイクルトレイン”による市内回遊ツアーを企画しています。自転車による環境・健康・賑わいまちづくりが高岡、富山の両市で進められようとしている今、その推進・普及活動をかねて、多くのイベント参加者ととともに、風を感じながらまちの魅力探しに出かける予定です。

高岡の魅力再発見のための付帯イベント

さらに、今回の催しのエキスカーションとして、富山県高岡市・射水市の特色である万葉線の路面電車「アイトラム」(チケットに「ドラえもん」をイメージキャラクターに使用)と、自転車を組み合わせさせた市内回遊のECOツアー(※)を付帯イベントとして企画しています。

細い路地も隈無くまわれる自転車の機動性。そのゆったりとした速度と、歩行時とあまり変わらない視線だからこそ見つけられる、まちの魅力。路面電車との組み合わせで広範囲な周遊も可能になります。環境、健康にも良く、まちの周回と賑わいづくりとして、高岡、富山の両市で活用が進められようとしている「自転車+路面電車のECOツアー」。今、その推進・普及活動をかねて、イベント参加者ととともに、風を感じながら、まちの魅力探しに出かける予定です。

※ECOツアーとは、「自然環境に配慮しながら体験・学習する環境教育学習旅行」のこと。環境保全、観光振興、健康づくりの3Kと地域振興の同時実現という理念を持って、3Kエコツアーを生み出す仕組みや考え方で地域による地域づくりのための「手づくりの旅行」が進められています。

川上未映子、トーク

○ドラえもん

9/5

土



フォーラム

高岡開港400年記念皇覧事業

まちをめぐる

おはなし

@ウイング・ウイング高岡4Fホール

開場 12:30 / 開会 13:15~

(JR高岡駅北口向かい)

13:30~14:45

フォーラム「孫子・F・不二雄がいた高岡」

入場無料

～わたしたちの好きなふるさとの原風景～

パネリスト

高橋正樹(高岡市長) 廣光俊昭(富山県知事政策局長) 山邊晃人(高岡商工会議所専務理事)
片岸 茂(ショウワノート株式会社社長) 石橋正好(高岡ロータリークラブ)
コーディネーター:○○○○(敬称略)

15:00~16:30

芥川賞作家

川上未映子、トーク。

「ドラえもん」とまちをめぐるおはなし」

入場料
¥1,500

16:30~17:15

川上未映子

著書

サイン会

関連イベントもいっぱい!

①エキスカッション

自転車・アイトラムで往く高岡～射水 サイクルトレインECOツアー

親子ゆかりの地をめぐるながら、まちの魅力をも発見するの自転車とアイトラムの小旅行。

②特別“お宝”展示 孫子・F・不二雄の貴重な本など多数展示 ウイング・ウイング高岡4Fホール

主催:「川上未映子、トーク」実行委員会 / 高岡市、高岡商工会議所、万葉集、高岡ロータリークラブ、高岡映画文化財団、高岡放送局、
高岡市産業振興局、高岡市観光局、アイトラム、ゆかりのまち、富山大学学芸学部、富山県立美術館
後援: 高岡開港400年記念イベント実行委員会、富山県、富山県立文化協会、孫子・F・不二雄たんぽぽ会、高岡市観光局、富山県立美術館、
協力: 株式会社 孫子・F・不二雄たんぽぽ、射水市観光協会、射水市観光局、射水市観光局、シロクワ、シロクワ株式会社
編集: 全国地方創生TV放送局、放送メディア公社、編集事業



川上未映子 (かわかみ みさこ)
高岡で生まれ、
『あふる野』、『静の中と世界の前後』
など3冊のCDアルバムを発表。
2009年発表集『さらばはばいばい』(著者自注)。
2017年初めての中編小説
『たのしみ イン 第一』(著者自注)を発表、デビューとなる。
『あふる野』(2009年)で第1回『あふる野』賞を受賞。
『あふる野』(2009年)で第1回『あふる野』賞を受賞。
『あふる野』(2009年)で第1回『あふる野』賞を受賞。
『あふる野』(2009年)で第1回『あふる野』賞を受賞。
『あふる野』(2009年)で第1回『あふる野』賞を受賞。

昭和26年、富山、高岡。

17才の少年が、漫画家としてデビューした。
少年は後に、不朽の名作を遺す。

「ドラえもん」を代表とする藤子・F・不二雄さんの世界は、昭和10～20年代の高岡での体験と昭和初中期の原風景の記憶をルーツにしています。それは家族や友人、周りの大人たちが織りなすさまざまな人間模様であり、山や川や空地や公園での触覚的な遊びの記憶です。「実はのび太は僕なのです」と語っていた藤子さんは、多感な少年期に高岡で得た“何か”を、その後の作家活動のバックグラウンドとしたのでしょう。ですから藤子作品には一貫したメッセージがあります。それは、少年時代の好奇心と冒険心に満ちあふれた目くるめく体験をひとつでも多く、子供たちに味わってほしいということ。そして、大人になってもその感動を失わずにいてほしいということでした。

昭和60年、大阪、京橋。

9才の少女と、ある漫画家のほんの一瞬のふれあい。
少女は後に、芥川賞作家となった。

昨年、「乳と卵」で芥川賞を受賞した川上未映子さんにも、多感な少女時代がありました。ある日、川上少女は、単行本サイズに切ったチラシの裏に“大好きなドラちゃん”を一枚分まるまる写し、自分で製本し、なんとそれを作者本人に送ったのです。後日、藤子さんからサインと下書き、そしてお手紙が届けられました。手紙にはとても素敵な言葉が書かれていたそうです。果たしてこの“コピー本”と“お手紙”のふれあいは、少女だった未映子さんにどんな感動をもたらしたのでしょうか？そしてその出来事は、後に文筆家・表現者となる未映子さんに何かしらの影響を与えたのでしょうか？

川上未映子、トーク。

フォーラム

そして平成21年。川上未映子、高岡でドラえもんたちを語る。

今回のトークショーでは、未映子さんが藤子さんとつかの間にあったあの頃、多感で、「のび太(のび子?)」だった頃のお話しをしていただきます。未映子さんの原風景、家族、友人、大人が織りなす“人間模様”。それらを包み込んだ“まち”の質感と魅力が、表現者やアーティストをカタチ作るうえで、及ぼす影響とは何なのでしょう？未映子さんのお話しを通して、住みなれた“まち”の見直ししがちな魅力を再発見したいと思います。

9/5 土

12:30 開場 13:15 開会	13:30~14:45 フォーラム 「藤子・F・不二雄がいた高岡」 〜わたしたちの好きあふれることの原風景〜	14:15~15:00 休憩 賓客入替え	15:00~16:30 川上未映子、トーク。 「ドラえもん」と まちを語るおぼなし」	16:30 閉会	16:30~17:15 川上未映子 サイン会
----------------------------	---	----------------------------	---	-------------	------------------------------

ウイング・ウイング高岡4Fホール

同日開催 記念関連イベント

① エキスカーション
自転車・アイトラムで往く 高岡〜鮮水サイクルトレインECOツアー
藤子・F・不二雄ゆかりの地をめぐりながら、自分の力で移動する楽しさと自然環境の大切さを体験。

ツアー概要
8:00 高岡中央公園集合の真ん中
①自転車ルート 高岡駅前→ドラえもん公園→体験場→川上原
②アイトラムルート 高岡駅前→藤子・F・不二雄生家跡→高岡公園→高岡駅前
③鮮水サイクルトレインルート 高岡駅前→高岡公園→高岡駅前
参加費：5,500円・定員：20名・参加資格：18歳（大学生）以上
※お申し込みの時点で参加希望のツアーをお選びください。
お申し込み・お問い合わせ 右記ホームページをご覧ください。

② 特別“お宝”展示
藤子・F・不二雄の貴重本など多数展示
会場：ウイング・ウイング高岡4Fホワイエ



わたしの好きなまち
わたしの好きなドラえもん
あなたのエッセイ・マンガ・写真
大募集

- ① エッセイ「ドラえもん和我的まち」
- ② ひとこまマンガ「わたしの原風景」
- ③ 写真「ふるさとの原風景」

イベント全般、公募についての申し込み、お問い合わせは
「川上未映子、トーク」実行委員会へ
※代表：未来観光振興会/株式会社CDL
www.miraikanko.net/
info@miraikanko.net
TEL:0700-60-0303 Fax:0700-60-0301

まち・再発見!
※お申し込みの締め切りは、9月15日(土)です。
応募いただいた方には、抽選で「お宝」展示の抽選券をプレゼントします。
※抽選券は、抽選結果発表後、お申し込みの住所に郵送いたします。

自転車・アイドラムで往く
高岡 ⇄ 射水

サイクルトレイン ECO ツアー

《《《 藤子不二雄 高岡ゆかりの地めぐりコース 》》》



平成21年9月5日発行

サイクリングルートを選べたら、万葉線に乗り換えて新湊方面へ。レンタサイクルなら折りたたんでそのまま乗車できるよ。港町や内川沿いをツーリングしたり、お寿司を食べたり。楽しんでね!

高岡巡りには駅のレンタサイクルがおすすめ! 見た目によらず走りやすいし、小回りバグンでとっても快適! まちなかの入りくんだ路地もスイスイまわれ。まずは高岡駅でレンタルして、さあ出発だ!

この千保川沿いの堤防道は、ゆっくりと歩いてもよし、自転車で爽やかな風を感じながら走るもよし、地元でも知る人ぞ知るかくれた散策コース。

瑞龍寺につながる水路沿いのルートや、定塚小学校の周辺は、昭和ムードあふれるまちの生活圏。特にオレンジ色のエリアは、藤子先生が生まれ育った場所。そのころとほぼ変わらない昭和の原風景が今もこっています。

1 ドラえもん 広場

2 ショウワ ノート 社屋壁面

3 瑞生 瑞龍寺

4 定塚 小学校

5 藤子 F 先生 生家あと

6 藤子 F 先生 住居あと

7 高岡 大仏

8 高岡 工業高校

9 高岡 動物園 絵筆塔

10 ふたつ山

11 山町 郵便局

12 御旅 通り ドラえもん の散歩道

13 高岡 市立 図書館

付帯イベント用ツアーマップ (オモテ) / A4 / 4C プロセス

イベントに関連するデザインワーク④

川上未映子トーク

9/5 2009

自由席 ¥1,500

フォーラム ドラえもん&まじろのおはなし

9/5 土

ワインディングロード4Fホール
フォーラム 川崎 川崎区 川崎 114-8580
トークショー 午後 14:15 - 15:30

主催者からのお願いです。必ずお読みください。

1. 本券は表記日時の指定日時に限り有効です。
2. 本券はいかなる場合（紛失、盗失、破損など）も再発行いたしません。大切に保管してください。
3. やむを得ず、日程、出席者その他を変更する場合がありますが、不可抗力により表記日時の催し物を中止する場合は料金の払戻し、または交換はいたしません。なお、払戻しは本券の券面金額のみを対象とします。従って催し物中止および延期の場合の旅費等の保証はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。
4. 会場内での写真撮影・録音・録画は一切お断りいたします。
5. 乳幼児等就学前のお子様のお同伴・入場をご遠慮いただく場合もあります。
6. 観覧中の会場への出入りはご遠慮ください。
7. 会場内では係員の指示に従ってください。

【お問い合わせ】「川上未映子、トーク。」実行委員会事務局 info@miraikanko.net | [Tel.0766-28-5050](tel:0766-28-5050)

主催 「川上未映子、トーク。」実行委員会
（講師）川上未映子（出演）「ドラえもん」声優 野原道子（出演）「まじろ」声優 藤田まこと（出演）「おはなし」声優 藤田まこと
 会場 高田地区のECOセンター 実行委員会（高田駅・高田駅西口徒歩1分）〒210-0834 川崎市高田5-1-1
 問い合わせ 実行委員会事務局
 印刷 印刷：印刷局「印刷局」社
 監修 主催：実行委員会事務局、株式会社エコーネット、印刷局

トークショーチケット/160*53/4Cプロセス印刷(オモテ)、1Cプロセス印刷(ウラ)

自転車・イトラムで往く
高田 ↔ 射水
サイクルトレイン
ECO ツアー

9/5 土

高田おとぎの森公園 8:00 集合

主催 「川上未映子、トーク。」実行委員会
（代表）川上未映子、事務局

サイクルトレイン
ECO ツアー

9/5 土
2009

参加費
¥5,500

主催者からのお願いです。必ずお読みください。

1. 本券は表記日時の指定日時に限り有効です。
2. 本券はいかなる場合（紛失、盗失、破損など）も再発行いたしません。大切に保管してください。
3. やむを得ず、行程、その他を変更する場合がありますが、不可抗力により表記日時の催し物を中止する場合は料金の払戻し、または交換はいたしません。なお、払戻しは本券の券面金額のみを対象とします。従って催し物中止および延期の場合の旅費等の保証はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。
4. 18歳未満の参加は一切お断りいたします。
5. 乳幼児等就学前のお子様のお同伴・同行は一切お断りいたします。
6. 旅行中の事故・への出入りはご遠慮ください。
7. 旅行中は同行スタッフの指示に従ってください。

【お問い合わせ】「サイクルトレインECOツアー」実行事務局 info@miraikanko.net | [Tel.0766-28-5050](tel:0766-28-5050)

主催 「川上未映子、トーク。」実行委員会
（講師）川上未映子（出演）「イトラム」声優 藤田まこと（出演）「サイクルトレイン」声優 藤田まこと（出演）「ECO ツアー」声優 藤田まこと
 会場 高田地区のECOセンター 実行委員会（高田駅・高田駅西口徒歩1分）〒210-0834 川崎市高田5-1-1
 問い合わせ 実行委員会事務局
 印刷 印刷：印刷局「印刷局」社
 監修 主催：実行委員会事務局、株式会社エコーネット、印刷局

サイクルトレインECOツアーチケット/160*53/4Cプロセス印刷(オモテ)、1Cプロセス印刷(ウラ)